

# 環太平洋文明研究センター

## ニューズレター No.7



### 災害や危機に強いレジリエンスがある社会の創造を目指して

#### — 新「環太平洋文明研究センター」の将来展望 —

小川さやか

(環太平洋文明研究センター・センター長)

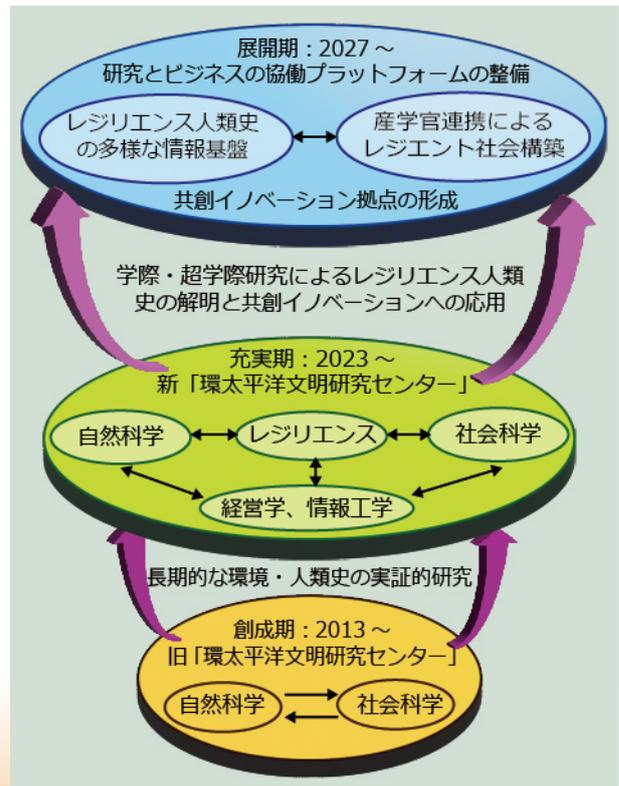
立命館大学環太平洋文明研究センターは、環境考古学、文化人類学、地理学、考古学など諸分野を横断する学際的研究組織として2013年に設置され、立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)の第2期「地球の自然回帰を目指した自然共生型社会モデルの形成」、第3期「地球規模での人間社会の成長と持続」の研究プログラムに参画し、着実な成果を積み上げてまいりました。

本センターでは、こうした10年間の研究成果を継承しつつ「災害、危機への挑戦」を前景化させ、さらに学際的な研究センターへと発展させることを企図しております。そこには3つの課題認識があります。第一に、超長期的スパンを扱う古気候学、考古学、地理学と「現代」を対象とする人類学的な研究を架橋し統合する歴史的視点、モデルを構築する必要性。第二に、現代の自然災害と食糧危機の問題とグローバル/ローカルなサプライチェーンや支援との関係解明の重要性。第三に、災害・食糧危機に対してテクノロジーの加速化による一元的な解決を展望する動きが、過去の自然環境の変化と人類の営みから実証的に引き出される警告や人間社会が醸成してきたレジリエンスを軽視することへの“危機感”です。

そこで、古気候学、歴史学、資源地政学、経営学、情報工学、技術経営学、都市政策学などの広い研究分野の研究者を新たに呼び込み、第4期R-GIRO「自然環境と人口・年齢構成の変化への挑戦を融合した地球共生型社会の実現」に参画しています。このプ

ロジェクトでは環境と社会の相互作用の蓄積としての人類史の実証的解明をさらに進展させ、災害や食糧危機が頻発する状況におけるレジリエントな社会や文化のデザインに貢献する新たな学際研究の展望を拓くものです。

下に示した図式は、これまでの旧「環太平洋文明研究センター」と2023年度から始まる新「環太平洋文明研究センター」の継続性と発展性を、「創成期」「充実期」「展開期」の3期に区分しまとめたものです。今後も、センターの研究活動にご理解とご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。



センターのこれまでとこれからの発展



## 古代甘味料あまづらの復元に挑戦 『枕草子』『今昔物語集』に登場した古代スイーツを作る

神松幸弘

古代の日本には、甘葛（あまづら）という樹液を煮詰めた甘味料がありました。しかし、砂糖の普及とともに消滅してしまい、現代では幻の甘味です。そこで、古典籍に残された情報と実験・科学分析からあまづらの復元に挑戦しました。その結果、あまづらの材料について、「アマツル樹液」「アマツル果実」「ツタ樹液」の3つに候補を絞り込むことができました。この成果をもとに人工的にあまづらの味を再現することに成功し、飴、シロップ、芋粥の製作も行いました。

このあまづら復元プロジェクトの実施にあたり、多くの方々よりご支援を賜りました。皆様に感謝の意を表し、ここにご芳名を記載させていただきます。どうもありがとうございました。

相原 紗希、秋谷 怜奈、梓澤 望、新井 良和  
安藤 雅子、安達 陽子、井口 貴仁、石崎 遥  
石山 洋子、伊藤 健斗、稲元 紘子、乾 広久  
入口 敦志、岩淵 恵、遠藤 雅司、太田 久子  
大瀧 梨絵、岡本 朋子、小原 崇、尾本 晶英  
片淵 千恵、片淵 須直、門脇 早紀、金子 祐太  
河内 正治、川上 真由、川上 喜一郎、木梨 咲野  
草場 英智、栗山 俊之、児玉 識彰、小山 綾子  
佐藤 亮、佐藤 敏子、七澤 洋平、清水 美由紀  
新野 美香、杉浦 訓子、杉岡 佑子、瀬川 弘美  
高尾 里美、高田 真希、高村 優子、田尻 尚子  
田中 圭子、田中 大輔、友清 雄大、内藤 朝陽  
長尾 恭子、永野 早苗、中村 大、新倉 愛香  
西岡 貴子、西村 康幸、野山 沙織、芳賀 優花  
畠山 恵莉、福崎 千恵子、藤川 真実、堀口 唯貴  
美藤 まちこ、宮崎 秀俊、村上 萌、森 裕子  
森村 瑞樹、矢野 沙央里、山田 美保、横田 清美  
吉田 江里子、若杉 桂

(支援者の皆様、順不同、敬称略)



あまづらの復元甘味料を使用したシロップ

立命館大学環太平洋文明研究センター  
ニューズレター No.7

発行日 2023年4月5日

発行所 立命館大学環太平洋文明研究センター  
〒603-8577 京都市北区等持院北町 65-1  
E-mail r-ppc@st.ritsumei.ac.jp

URL <http://www.ritsumei.ac.jp/research/rcppc/>

編集 中村 大 (立命館大学 R-GIRO・准教授)